



「自宅」としてのホーム

社会福祉法人からし種の会

理事長 山崎ハコネ

皆様に祈られ、支えられて十三年の時を経て、漸く「みんなの家・エクレシア」で合同のクリスマス礼拝・祝会を地域の皆様と一緒にささげることができました。ここからお礼を申し上げます。

法人の公益事業・自主事業「マナの家」のことを少し整理して、お伝えしたいと思います。マナの家の実践は、ひとりの女性との出会いに始まり、制度に乗らない人たちの援助を開拓し、ボランティアや地域資源をつなぐなどの創意工夫によってサービスを提供していくというインフォーマルの性格の家です。

制度にしばられない「自宅」的性格の「マナの家」の独自サービスのメリットは、

一、ニーズの発見と即応・柔軟的に対応することができ

二、ご本人の状況にあわせて、往診や訪問看護等居宅サービスを利用することができる
三、上記を利用できることで、重度の認知症の人や医療ニーズの高い人でも住み替えずに暮らせる。

同様にデメリットは、次のとおりです。
一、「自主事業」という立場の選択は、公的な支援や補助金等の対象からはずれる。

- 2011年12月
- 社会福祉法人からし種の会
事務局 〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626
E-mail: karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp
- 高齢者グループホームからし種の家
〒950-2014
新潟市西区小針西1丁目4番22号
TEL: 025-267-6600
FAX: 025-267-6602
- グループホーム マナの家
□地域福祉事業 マナの家・みんなの家
〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626

二、ご本人に合わせて医療、居宅サービスを利用することは、施設サービスを利用するよりお金がかかる。

三、メリット三を実践する「経験と専門性」、「高いモラル」を持った人材確保が難しい。
四、特に応用編のケアマネジメントのできる看護師、介護支援専門員の人材を確保することは、一の問題があるので難しい。

このように見ていくと、あらためてマナの家の脆弱な財政基盤が露呈してきます。社会福祉法人会計では、公益事業の収益を社会福祉事業に当てていくことは認められています。しかし、経営基盤の安定化がはかれる社会福祉事業から、その利益を公益事業に当てることは認められていません。そのため、マナの家の運営や物品の購入、二〇一一年度に購入した特殊浴槽も8割が寄付金で賄われています。このように、寄付金を法人の自主事業に充当するほか方法はなく、綱渡りに似た状況です。

にもかかわらず、行政や介護保険事業などではできないマナの家の独自サービスによって、守られていくのちがあるということも事実です。具体的には、医療ニーズの高い人や重度の人であっても、必要に応じて居宅サービスや地域資源、医療機関を利用しながら、ご本人とご家族の望む暮らしを住み替えずに支えていくことが、十一年目を迎えたKさんによっても明らかです。

Kさんは、マナの家をご利用される前は、特別養護老人ホームを利用されていました。

「母に普通の暮らしをさせたい」という願いからマナの家を利用するまで、今日はお茶を飲んで帰る、泊まってみるというように五ヶ月の月日をかけて入居されてきました。

その後、脳梗塞や肺炎を繰り返し、医療ニーズが高くなり、いのちの危機を何度も超えてきました。その間にKさんは、ご家族全員が出席する中で、洗礼をお受けになりました。今また、看取りを覚悟するような日々が続きますが、Kさんの自室には、ご家族の声がよく聞こえます。マナの家の人たちや訪問看護の人や主治医の声、新潟信濃町教会の牧師の声が彼女には届いています。失語症であっても彼女の舌の動きは、讚美歌の歌詞を歌っていることを証明しています。

このように、高齢者の尊厳や自立、自己実現の機会があるにもかかわらず、それを支える公的な仕組みがありません。残念でなりません。Kさんのいのちをマナの家の暮らしを、皆さんと一緒に支えて行けたらと願っています。

「神にできないことは何ひとつありません」



からし種学校（介護福祉士受験のための勉強会）

からし種の秋

管理者 川端 智哉



今年も残りあとわずかとなりまし
た。

個人的には、日々の暮らしに追わ
れ、振り返る間もないうちに、一年
が過ぎてしまった感があります。

今年の秋は近年のように駆け足で
はなく、ゆっくりと移ろっていった
ように思います。ご利用者の皆様
も、ぶどう狩りや弥彦の菊祭りな
ど、秋を楽しめました。また、食
欲の秋という通り皆様の食欲も、旺
盛でありました。

カラになったお茶碗と「美味しか
ったよ」の言葉に、私たちは喜びと
やりがいを感じます。そして、「よ
し、次はこんなものを食べていた
こう」とはりきります。

季節柄、風邪を召された方もいら
っしゃいましたが、すっかり回復さ
れて、元氣にお過ごしです。いつも
ながら、皆様の力強さには驚くばか
りです。こうしたお姿に私たちは励
まされ支えられています。

お互いに支えあい、共に暮らして
いく…。これからも、からし種が
居心地のよい、そんな場であり続け
たいと思っています。



日々の様子「きれいに
にさせていただいてあ
りがとうございます」

笑顔と感動のブドウ狩り

佐藤 敏子



外出支援の一環として、十月四日
に秋の味覚と動物とのふれあいを目
的に、白根グレイプガーデンに外出
して来ました。

当日は、天候に恵まれてY様・T
様と職員二名で出発し二十分程で到
着しました。車イスに移乗して園内
に入ると、そこには、たわわに実つ
たブドウと甘い香りが広がっていま
した。

Y様も、T様も顔がほころびまし
た。Y様はブドウを食い入るように
目と指で追い「うわぁー」と歓声を
上げられました。T様はブドウの美
味しさに大満足されるなど、お二人
の生きいきとしたお顔を見ることが
できました。車イスを押す手にも思
わず力が入りました。また、兎やヤ
ギに餌を与えるY様のお姿に優しさ
を感じました。T様は動物が苦手で
餌の人参も嫌いということもあり、
その様子をこわごわと見ておられま
した。

外出支援の大切さと、その影響の
大きさを感じました。これからも、
利用者様の
笑顔が見ら
れるように
と、心がけ
て頑張ってい
きたいと思
います。



「感動の一瞬」

懐かしさと思い出にふれて

前澤 梨沙



からし種の家では、以前から年に
一度、各担当の職員が利用者様の「夢
や願いを叶える外出支援」を行って
います。

利用者様のゆかりに沿った場所や
思い出のある所へ出かけ、その場を
共有するといったより具体的な支援
です。

この日は、S様とM様を車にお乗
せし新潟市歴史博物館（みなとび
あ）に出かけました。

天候も秋晴れで恵まれて、車窓か
ら見える街並みや海など、外気に触
れながら、お二人はその風景を楽し
まれていました。また、職員との会
話も弾み海岸線を通過する際には、
海の唱歌を口ずさむなどして和やか
に過ごしました。館内では「昔のく
らし展」を見学しました。明治の頃
から昭和の三十年代の当時の暮らし
ぶり、とくに着ていたものが中心に
展示してありました。

かつてのS様は和裁の仕立てで家
計を支えておられました。その頃き
つと使っただろうと思われる道具や
着物を見て、「懐かしいですて」と
おっしゃっていました。またM様
は、若い頃を思い出したように、野
良着を見て「こんなの着てよっぱら
仕事した。」などの声を聞くことが
できました。

昼食は、外食でいつもと違う雰
囲気の中で個々にお好きなものを召
し上がりました。今回の「外出支援」
では、利用者様の笑顔をみられた

からしだねの クリスマス



手づくりのツリー
や置物の小さなツ
リーなど色とりど
りのものがリビング
に飾られました。



十一月二十五日にみん
なで楽しく手分けして
クリスマスの飾りつけ
をしました。



事、昔のくらしぶりを思い出して頂
いた事、さらに私自身も利用者様の
昔の姿に少しでも触れる事ができ、
充実した時間を共に過ごすことがで
きて嬉しかったです。



近所の食堂にて晩酌中「たまには外での一杯もいいもんですね」

九月十九日の夕食には、日頃の感謝を込めて、栗おこわ・煮しめ・唐揚げ等のメニューが食卓を飾りました。いつもよりちよっぴり豪華なメニューに「旅館のようだ」と、皆さん舌鼓みを打っていました。また、この日はボランテイアさんによる漫談もあり、楽しい話に笑顔が溢れていました。さらに、夕食時にはプレゼントのメッセージカードと、手作りの箸入れを受け取られ、主役の皆さんにとって特別な一日となった様です。

「敬老の日」のお祝い

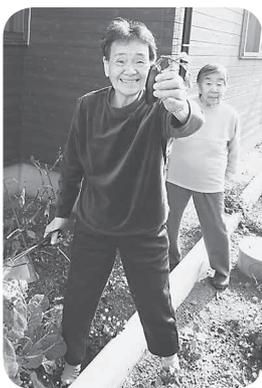


回転寿司

九月十日、暑い夏も峠を過ぎて食欲も増す季節。回転すしへ出かけました。最初はとまどいながらも「これはうまそうだ」「うれしい」と、お好きなお寿司を、ご自分で注文される方、回ってくるお寿司におもわず手を伸ばされる方・・・中には六皿も召し上がった方もいらっしゃいました。普段は食べやすい大きさに切っている方も、そのままのお寿司をおいしそうに召し上がっておられました。エビ・海苔巻き・マグロ・たまご・おいながりさん・イクラ等皆さんおなかいっぱい召し上がり、笑顔でした。

苗植えから収穫まで

マナの家では、夏には茄子を、秋には食用菊を育てました。庭の一角にある小さな畑には、見事な茄子や菊はいくつも実りました。



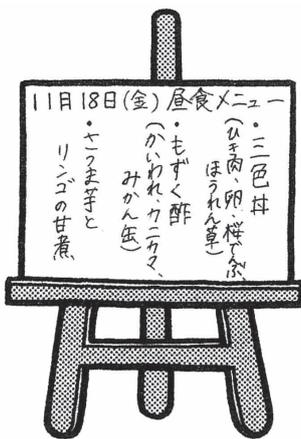
りっぱな茄子が収穫できました。

ぶどう狩

十月七日、秋も深まりおいしい果物が食べたくなる頃、白根まぶどう狩りに出かけました。初めてぶどう園に来られる利用者様は、「こんなにぶどうがあつて、すごいんですね」と驚いておられました。また小動物と触れ合う場もあり、少しおっかなびつくりされながらも楽しそうにされていました。この日は天気も良く、おいしいぶどうを食べながら、「ここでおいにぎり食べたいね」「いいところだね」と話はずみみながら、外出されなかつた利用者様におみやげを持って帰途につきました。

保健所栄養指導

十一月十八日 平素の献立の栄養面および調理状況を、新潟市保健所 食の安全推進課管理係の指導員に確認を依頼しました。当日は、昼食を調理する様子や献立、利用者様の様子を見ながら指導されました。指導内容は、毎日の食事を提供するにあたって、食品ごとのバランスのとれた献立を工夫すること、食中毒予防のための手洗いや調理器具の消毒等についてアドバイス頂きました。これらの指導を基に、衛生面に十分気をつけよりおいしく栄養のある食事を提供できるように取り組んでいきます。



有明地区作品展を開催

(西区社会福祉協議会地域)

ふれあい行事助成事業)

有明地区自治協議会 村井 良次

11月3日、文化の日に有明地区作品展をグループホームマナの家の地域交流ルームで開催しました。

初めての開催です。作品の出展数が心配されましたが、回覧にて出展を案内したところ20人の方から60点の作品応募がありました。油絵、水彩画、版画、書、日本刺繍、人形、刺し子、タペストリ、俳句、手作り椅子、布袋等。ありがとうございます。

スタッフ一同感謝です。当日マナの家が福祉バザーを同時開催することで、打合せ準備を一緒にしてきました。

有明地区作品展としては、会場の中に無料の「いっぶく処」を設けました。お茶、コーヒ、茶菓子でお話交流の場です。又草によるパッタやおろぎの手作り実演コーナーも設置です。

午前10時から午後2時の開催でした。天気も良く、来場者は約130人。多彩で多様な作品の鑑賞と「いっぶく処」も盛況な一日でした。



出店・慈仁工房

社会福祉法人更生慈仁会 慈仁工房

所長 村上 博

十一月三日の福祉バザーでは、当施設オリジナルの手工芸品、私共の法人の畑で採れた里芋や大根、漬け物などを販売させていただきました。

有明地区の作品展が同時に開催されていたこともあってか、地域の方、からし種の法人関係の方、たまたま通りがかったという方などたくさんのお客様が店に立ち寄ってくださいました。

一緒に行った当施設のご利用者二名も地域の皆様と触れあ

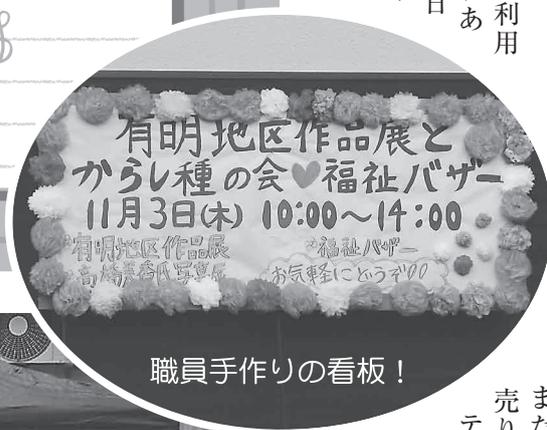
うことができ、楽しい一日だったとのことでした。ありがとうございました。

からし種の会♥福祉バザー

作品展と、からし種の会のバザーが合同で、マナの手芸品、絵画、書等の作品の展示や写真家高出店(青山ファクトリー、慈仁工房)、からし種ルームコーナーやボランティアさんによる体験コーナー等たくさんの方にお越しいただきました。入居時訪問された方と一緒にいつもと違う雰囲気の中で用意された方もいらっしゃいました。

作品の用意、バザーでそれぞれに分担して

をお届けします!!



職員手作りの看板!



「有明地区作品展とからし種の会バザー」に参加して

福祉作業所 青山ファクトリー

施設長 小林 裕芳

当日は、芸術の秋に相応しい皆さんの絵画や書道、陶芸などの力作とともに、傍では植物の葉っぱで「パッタ」作り、また、利用者さんや地域の方がゲームを楽しむ姿も見られました。高橋美香さんが撮影、解説された「パレスチナのスライド」は迫力満点。

また、販売では当所製造のパンが瞬く間に売り切れるほど順調でした。大学生ボランティアの皆さんも相まって、まさに地域、福祉、学校が一体となり「地域に開かれた施設」を实践されたようなバザーでとても感激しました。ありがとうございました。

展示作品や販売、ゲーム会場を入居者様と一緒に巡り、その賑やかな雰囲気を楽しまれている表情は、普段見ている以上のとても素敵な笑顔であり、私もつられて笑顔になって、温かな気持ちになりました。 マナの家 齋藤



本場!!!
韓国チヂミ
¥200円

おしるこ
100円

食事はあでん、カレー、おしるこ、本場韓国風チヂミ、パウンドケーキ、フランクフルトを用意しました。手作りのサーターアンダギーも人気でした。



有明地区作品展とから

2011年11月3日文化の日には有明地区の作の家にて行われました。有明地区の地域の方、橋美香さんの写真展、近隣の福祉施設によるの家の手芸品販売、マナの家の食事提供、ゲームと様々な催しがあり、地域の方やご家族者の方も作品展やゲームを楽しまれたり、来食事をされました。また、展示の為に書道や当日に向け、職員は看板や装飾の準備、販売品提供する食事のメニュー決めから調理まで準備してまいりました。

ご協力いただいた方々の声と共に当日の様子を

写真展「パレスチナで生きる」

高橋 美香

震災以来、岩手県宮古市でのボランティアの傍ら、被災地の日常や人々の姿を記録しているが、瓦礫となった自宅を目の前にして呆然とされている被災者の姿は、私が取材・撮影を続けているパレスチナの人々の姿と重なった。

その宮古で、山崎ハコネ先生にお目にかかり「二一月にうちで福祉バザーと展示をやるから是非一緒に」とお誘いをいただき、初めて新潟の地を踏んだ。

二泊三日、「マナの家」で職員や入居者の皆さまと過ごしながらの写真展は、「世界中の誰もが大切にされ、幸せに生きる権利がある」ということを、改めて感じる時間となった。

バザーでお世話になった皆様に、心からお礼を申し上げます。そして、一月二九日より再びエジプトとパレスチナの取材に向かいます。

バザー・食品販売

敬和学園大学ボランティア 加藤 紘子

今回バザーに参加し、私は飲食ブースでチヂミを焼いて販売する担当をしました。

ご家族の方がチヂミの作り方を尋ねて来られたり、ダイレクトに「美味しい」と伝えて下さったり、利用者さん以外の方とコミュニケーションをとる機会が沢山ありました。そのうちに利用者さんが食べるチヂミは小さくカットして食べやすくし、タレの量も少量でまんべんなくかけるなど工夫をしました。話をすると相手の方の特徴が見えてき

て、どのようにつまみに接すればよいのか、がだんだんわかってきました。お話ししている利用者さんがニコニコしてくださるのはすごく嬉しいです。また機会があれば参加したいと思



葉っぱでバッタができました!

バザーの為に献品・献金して下さった方々、出店に協力して下さった方々、当日お越しいただいた地域やご家族の皆様大変ありがとうございました。



あうんの呼吸の中での夫婦の絆

朝、一階エレベーターの前で顔を会わせたお二人。「よいしょ、よいしょ。」と明夫さん(仮称)が良子さん(仮称)の足取りに合わせて声をかける。その声をよそに歩き続ける良子さんに職員が「明夫さんと一緒にいいですね。」と云うと「そーらねー。」とゆっくり答えられる。落ち着いた返答からご主人が傍にいらつしやることの安心感が伝わってきます。

お二人のことは前号で紹介しましたが、四月からグループホームに入られた明夫さんが十一月から要支援一となられグループホームの対象外になってしまいました。しかし、お二人一緒に暮らし続けていただく方針に変わりはなく、明夫さんが公益事業マナの家に、良子さんがグループホームマナの家に、それ

「お二人一緒に暮らしをいつまでも」
服部 千加子

みんなの広場

地域福祉事業 マナの家・みんなの家



Kさんお誕生日おめでとうございます
敬愛する東中通教会の牧師と一緒に

毎週日曜恒例の、夕礼拝後の夕食会の食事を交代で作りはじめたのが五月からでした。まだまだ料理初心者のは、どの位の量が必要か、口に合うかと少し不安でした。献立を考えるのも簡単で美味しいと思いい、本で探したりネットで見つけたりと出来る中から作るのも大変ですが、利用者のみなさん

「日曜夕食会 お料理はおまかせ!」
渡辺 祐美子

ぞれ移ることになりました。良子さんは二階ホールで過ごす時間が多くなり、他の利用者さんと交わる機会が増えて皆と会話することが多くなってきました。嬉しいことです。マナの家で、お二人一緒に暮らしが末永く続けられますようお手伝いさせていただきますと思います。

看護師のボランティア募集!!

一人のひとの生活と生命を支える働きに、あなたの力をかして下さい。

- お願いしたいこと○
胃瘻からの栄養注入です。寒天で固めたラコールを注入しています。
- 時 間○
①午前中か②夕方～夜のどちらかです。
どちらでも結構です。一回に、約1時間要します。
- 場 所○
社会福祉法人からし種の会 地域福祉事業マナの家
- 住 所○
〒950-2071 新潟市西区西有明町2番5号
- 問い合わせ先○
社会福祉法人からし種の会
地域福祉事業マナの家 山崎ハコネ 服部千加子
TEL 025-201-7688 FAX 025-201-7626

は好き嫌いの少ない方ばかりなので、とても助かっています。

お魚が好きと聞き魚料理にしたり、野菜とバランス良くなる様に考えたり、まとまらないと他の職員の方からアドバイスを頂いたりもしています。

担当で作っていると、「美味しい匂いがするね。」と利用者の方から言われる事があり、とても嬉しく思いながら作っています。

私は作って帰って来てしまおうので、どんな感じで召し上がっているか分かりませんが、みなさん完食されたら聞き、みなさんから、「うまい」と言ってもらいたいので料理が上手になりたいと思います。

●●● 有明地区作品展・からし種の会福祉バザー 収支計算書 ●●●

2011年11月3日(木)

支出の部	単位：円	収入の部	単位：円
バザー用経費支出	65,329	食券売上	40,750
経費合計	65,329	手作り品・寄付品売上	22,390
		わたあめ・お祭りコーナー売上	2,990
バザー収益金の用途	71,021	バザー寄付金収入	63,220
日本赤十字社へ義援金支出	10,000	匿名	50,000
地域活動のために	27,120	山崎ハコネ	13,220
公益事業マナの家の運営のために	27,120	会場費及び出店料収入	7,000
からし種の会本部へ	6,781	有明地区自治協より会場費	3,000
		青山ファクトリーより出店料	1,000
		慈仁工房より出店料	1,000
		グループホーム マナの家より出店料	1,000
		グループホーム からし種の家より出店料	1,000
合計	136,350	合計	136,350

※敬称略 単位：円

◇◇お 礼◇◇

国際ソロプチミスト関係の各団体様から、下記のとおり制度対象外ホーム「マナの家」の運営のためにご寄附いただきました。

いただいた寄附金につきまして、地域の方々にも利用していただけるようにみんなの家の折りたたみテーブル7台・イス30脚等の購入代金に充当させていただきました。

この紙面をお借りしてお礼を述べさせていただきます。誠にありがとうございました。

- ①ニイガタベンチャークラブ様
平成22年度20万円、
平成23年度10万円
- ②国際ソロプチミスト新潟西様
平成22年度5万円、
平成23年度5万円
- ③国際ソロプチミスト新潟様
平成22年度5万円、
平成23年度3万円

からし種の会後援会 (賛助会費、維持会費、自由献金等) 2011年6月～2011年11月	
汐崎 貞子	5,000
東加茂聖書協会	30,000
才川 ミサ③	33,000
倉本 武治②	70,000
小柳 直江	10,000
野島 廣一郎	3,000
横山 豊治	3,000
並木 浩一	13,000
古川 久子	3,000
大澤 理尋	20,000
山岡 清二	5,000
小川 和男	5,000
市村 秀子	3,000
児島 康夫	10,000
薩摩 雅宏・牧子	5,000
富山 雪江	20,000
福島 三郎	10,000
聖ヶ丘教会 婦人会	30,000
林 浄子	5,000
土橋 敏孝	13,000
久保 和子	5,000
浦沢 陽子	10,000
貝塚 夕紀代	5,000
加藤 栄嗣	3,000
青木 脩	5,000
吉崎 恵子	10,000
北尾 隆昭	5,000
小林 恵	5,000
匿名	30,000
(南西新潟商事)	50,000
古谷野 マリ子	10,000

匿名	
富岡 元子	10,000
遠藤 葉子	10,000
星野 りえ子	20,000
(株)ネイグル新潟	10,000
大西 英子	3,000
山田 昌人・光子	5,000
イエス・キリスト栄光教会 大倉 直子	5,000
松崎 博司	10,000
土田 成子	10,000
竹内 晃	5,000
石塚 猛・初子	10,000
匿名	50,000
倉井 良子	5,000
加藤歯科医院 加藤正衛	5,000
榎本 栄次	5,000
松井 朝子	50,000
加野 久子	56,000
五十嵐 信行	8,000
重島 高美	2,000
匿名	10,000
合計	823,000

からし種の会 (法人への献金) 2011年5月～2011年11月	
田中 篤	10,000
大橋 謙策	10,000
俣野 栄輔	500,000
鵜沼 裕子	10,000
山崎 ハコネ	210,000
ニイガタベンチャークラブ	100,000
国際ソロプチミスト新潟西	50,000
国際ソロプチミスト新潟	30,000
合計	920,000

* いつもお支えをありがとうございます。献金・ご寄附をいただく口座 *

- ①後援会の口座
郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合
(同封のもの)
口座番号：00540-7-59997
加入者名：社会福祉法人 からし種の会後援会

- ②法人の口座
第四銀行小針支店 普通預金
口座番号：1300222
名義：社会福祉法人 からし種の会

※所得税控除 当法人が行う社会福祉事業のために②の法人の口座に献金していただくと、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第1項及び第4項に該当し、税金が控除されます。こちらから発行する領収書が変わりますので、法人に指定寄附をご希望される方は、寄附申込書が必要になりますのでご連絡下さい。



地域の方々に支えられて

山際 ルリ子

十二月四日、日頃から「からし種」を支えて下さっているボランティアさんやご近所の方たちをお招きして、「年忘れお楽しみ会」を催しました。

当日は、総勢四十名ほどになり、からし種のリビングは立ち見も出るほどの盛況でした。始めに、寺尾マジッククラブの佐々木正彦さんによるマジックショー。佐々木さんの手から次々に練り出される色とりどりのお花やスカーフ、消えたお札の瞬間移動、リングやロープのマジック、観ている私たちを巻き込んでのカードマジックなど・傍らで観ても手品の種は一つも解明できませんでした。(当たり前！)

最高齢のSさんが、最後まで身を乗り出すようにして楽しまれていたのが印象的で、他の入居者の方々も目を輝かせて見入っておられ、さかんに拍手を送っていました。次に職員の本田さんによる紙芝居「なんにもせんにん」。大きな木杵も借りてきて下さった本格派紙芝居。本田さんのよく透る感情豊かな声に、皆さん聴き入っておられました。最後は自治会のコーラスグループ「フレッシュコミュニティ」の方々。からし種では三回目のステージです。入居者



の方々にも聴き覚えのある選曲で、みんなで合唱もし、集まった人たちの心を一つにして下さいました。その後、日頃の感謝を込めてささやかな会食をし、会はお開きとなりました。地域の皆さんと素敵な時間を過ごせたこと、またまた感謝の気持ちでいっぱいです。「ありがとうございました」これからもどうぞよろしくお願致します。



合同クリスマス会を行います!

日時：2011年12月23日(金・祝日)
10:30～
場所：マナの家(みんなの家)
内容：10:30～ クリスマス礼拝
11:00～ クリスマス祝会
信濃町教会子供たちによる
ハンドベル演奏・
職員出し物・ゲーム
11:30～ 昼食会

◆救急法講習会開催しました◆

十一月二十六日、西消防署小針出張所のご協力のもと、からし種の家・マナの家合同で、救急法講習会を開催しました。講習内容は、心肺蘇生法・AEDの使用方法・異物除去法等の講演、人形を使用した実技を行

いました。地域の方、職員で計九名が参加しました。参加された皆さんは、いざという時に備え、熱心に講習を受けられていました。三時間の講習終了時には参加者全員に修了証が手渡されました。講習会は来年度もを行いますので、興味のある方はご参加ください。



＜ボランティアさん募集しています＞

「からし種の家」・「マナの家」では、現在数名のボランティアさんが日中活動し活躍して下さいます。ボランティアさんによる新しい風が吹き込まれ、そのアイデアとパワーをお借りして、さらに居心地のよい生活の向上を目指しているところです。利用者さんや職員の喜びと共にボランティアさんの喜びや、やりがいにつながる・・・そんな意義のあるものになりたいと思っております。

いつでもお電話下さい。
からし種の家…025-267-6600
ボランティア担当 本田 正子
マナの家………025-201-7688
ボランティア担当 山田 華代

編集後記

からしだね第十九号をお届けいたしました。地域の方々とのふれあいを通し楽しい時をこれからも持たせたいと思います。原稿をお寄せ下さった皆様、ご協力を感じたいです。
(渡部美紀)